

令和2年11月20日

# 校長室だより

第8号

座間市立相模中学校  
校長 金子 憲勝



## 嬉しいお知らせ

保護者の皆様、相模中学校だよりの11月号をご覧いただけましたでしょうか・・・？

そこには、本校の陸上部が市内の駅伝大会で男女共に優勝し、県大会に出場することになったこと。さらに、演劇部と剣道部の県大会出場に関する記事을載せておきました。その後、前述したものの以外にも嬉しいお知らせが届いていますので、まずはその嬉しいお知らせから載せます。

座間市中学校POPコンクール2020において、図書館長賞に本校の生徒が5人も選ばれました。この図書館長賞は、7人中5人が本校の生徒だったので、大変素晴らしい結果でした。それ以外にも、優秀賞には18人中9人もの人が選ばれ、審査委員の方からの評価によると「市内中学校のPOPコンクールは、今年で3回目になりますが、年を重ねるごとにPOPの質が向上しており、賞に選ばれなかった作品も良作ぞろいでした。」とのコメントがあり、作品の質の高さが分かり、大変誇らしい気持ちになりました。なお、受賞したPOPについては、1月7日(木)まで座間市立図書館で紹介しているそうなので、座間市立図書館に行かれた時には是非ご覧ください。

## 夢中になれるもの

私は、小・中学校時代に夢中になれるものを見つけて欲しいと思っています。夢中になれるものについては、今週期末試験がありましたので勿論勉強でも良いですし、部活動や習い事で行っている活動でも良いです。これをやっている時間が過ぎることを忘れてしまうくらい集中できるものがある人は、幸せな人だと思います。是非、中学校時代に夢中になれるものを見つけて欲しいです。

## 本の紹介

前回の校長室だよりの最後に、本校の生徒の学校図書館の貸し出し冊数が、他校と比較すると大変多いことについて載せましたが、今回の校長室だよりには私のお薦めの本を紹介します。もう読んだことがある人も多いことと思いますが、まだの人には是非読んで欲しいので、以下に載せます。紹介したい本は、「Wonder ワンダー」と「モモ」です。(この2冊の本は、子どもだけではなく、大人が読んでも夢中になれる本です。) その本の内容を簡単に紹介します。

「ワンダー」は、オーガスト・ブルマンという男の子が主人公の物語で、彼の顔は生まれつき他の人とは違っていました。そのために、彼は10歳になるまでに顔面整形手術を27回も受け、10歳まで学校に通ったことがありませんでした。そのオーガストが、学校に通い始めるのです。章ごとに物語の視点が、オーガスト、お姉さんのヴィア、友だちのジャック、サマーなどと変わっていきます。顔が他の人とは違って生まれたことによる苦しみを乗り越えて成長するオーガストや彼の周りの人々のことが書かれています。

モモは、「時間」がテーマの物語です。廃墟(はいきょ)となった円形劇場に住みついた、粗末な身なりをした少女モモ。街の人々は相談をし、モモの面倒を見ることとなります。モモに話を聞いてもらうと硬くなった心が柔らかくなり悩みが消えていく……。不思議な力を持つモモは、街の人にとってかけがえのない存在になっていくのでした。ところがある日、街に「灰色の男たち」が現れます。「時間を貯蓄銀行に貯めると命が倍になる」と言う彼らのせいで、町の人々から「時間」が奪われてしまいます。さて、この後モモはどうするのでしょうか・・・

私は、本は日常生活から別の世界に移動するパスポートのようなものだと思います。私は時々本を読んでいると夢中になり、日常のことを忘れ、その本に没頭する時があります。本は、私の知らなかった世界に私を連れて行き、違う考え方を与えてくれます。そのため、生徒には日頃から多くの本に触れて欲しいのです。また、座間市の学校教育指導計画に明記してある「豊かな心」と、本校の教育理念にある「心豊かな未来の創世」にも繋がると思っているので、本を読む習慣を身に付けて欲しいです。

